

# 平成28年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第10回 8月下旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門 (藤田)  
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

## ○カタクチイワシ卵の出現状況

卵が前年よりやや多く、平年より少なめに出現した。

前年	平成27年8月20日	(17点の平均)	4.0 個/m <sup>3</sup>
前回	平成28年8月2日	(7点の平均)	19.3 個/m <sup>3</sup>
今回	平成28年8月17日	(17点の平均)	7.0 個/m <sup>3</sup>
※8月下旬の平年値			14.1 個/m <sup>3</sup>

## ○カタクチイワシ仔魚の出現状況

仔魚が前年より多く、平年より少なめに出現した。

前年	平成27年8月20日	(17点の平均)	0.9 尾/m <sup>3</sup>
前回	平成28年8月2日	(7点の平均)	2.8 尾/m <sup>3</sup>
今回	平成28年8月17日	(17点の平均)	2.3 尾/m <sup>3</sup>
※8月下旬の平年値			4.0 尾/m <sup>3</sup>

## ○プランクトン調査

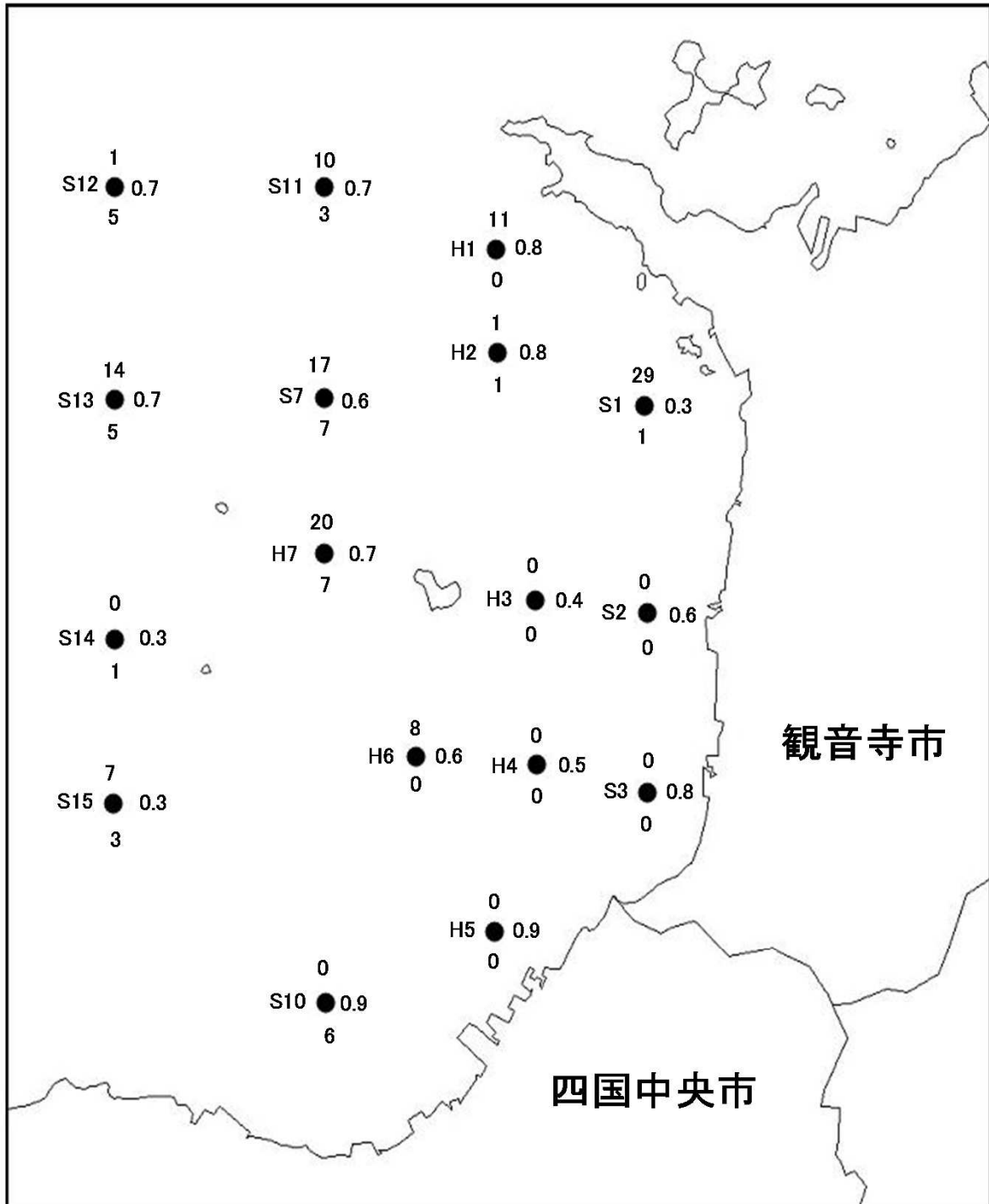
プランクトン量では、カイアシ類及びミジンコ類(エバドネ、ペニリア)が多かった。  
カタクチイワシの餌となるカイアシ類量は前年、平年より多かった。

## ○クラゲ調査

ミズクラゲ及びオワンクラゲ類が、前年より多く出現した。

次回の調査は9月2日(木)の浅海定線調査に合わせて実施予定

カタクチイワシ卵稚仔採集状況 (2016/8/17)



●の上側がカタクチイワシ卵数/m<sup>3</sup>を  
下側がカタクチイワシ稚仔数/m<sup>3</sup>を、  
右側がカイアシ類量(ml/m<sup>3</sup>)を示す。

※カイアシ類量は、プランクトン採集量

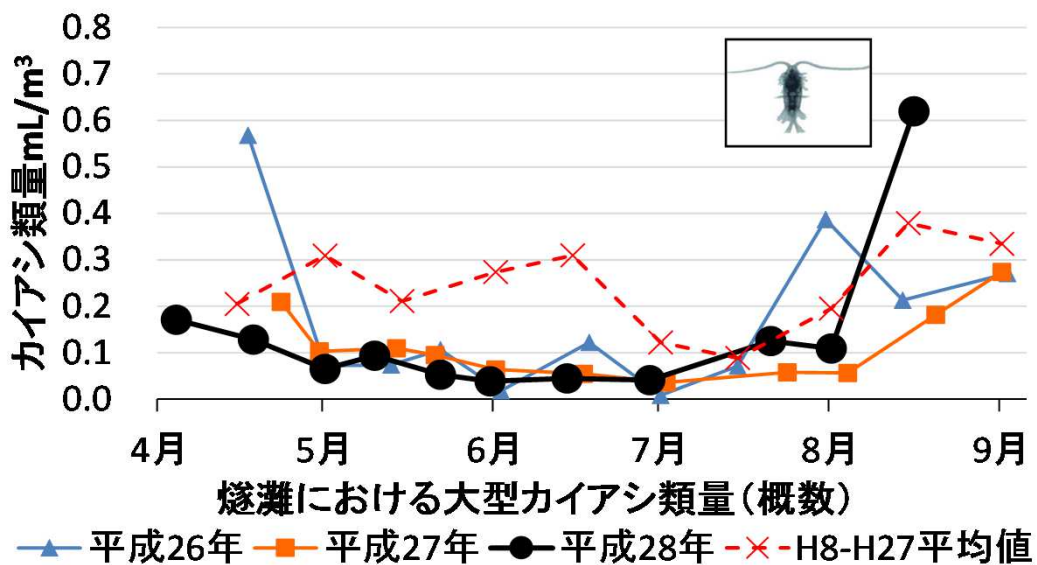
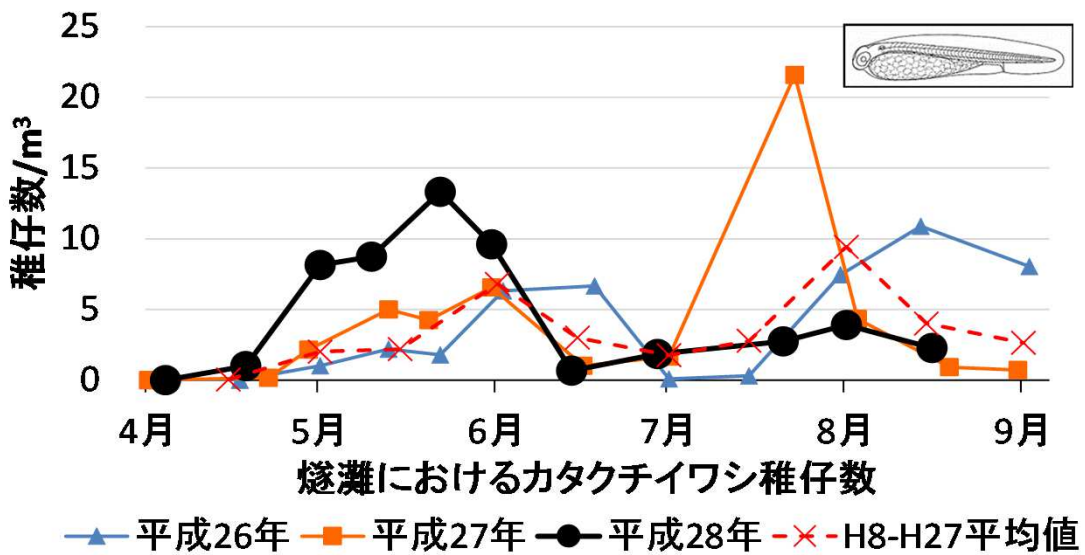
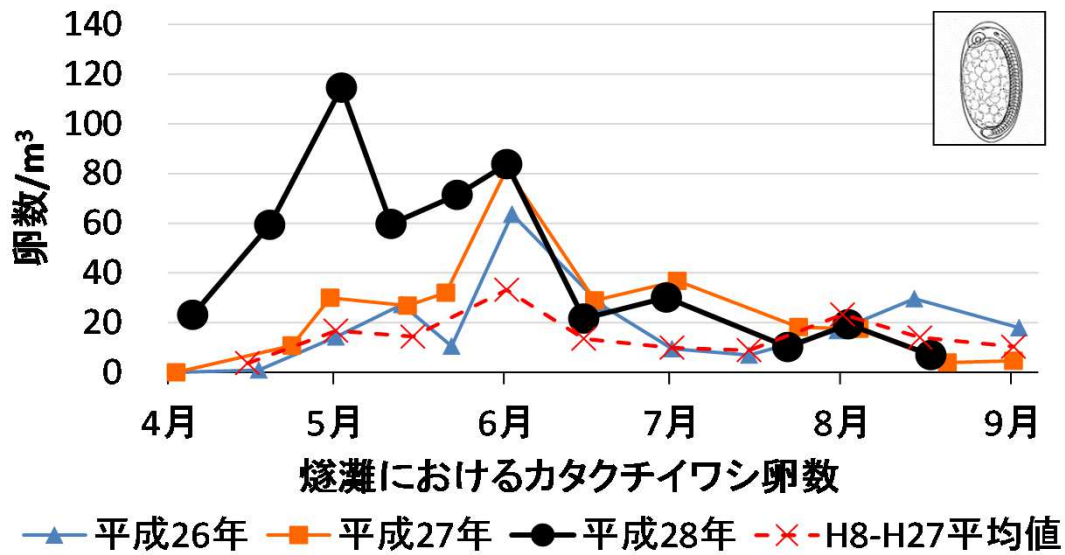
(0.335mm以上)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出した概算値。

21 ← 卵数  
凡例 ● 0.6 ← カイアシ類量  
5 ← 稚仔数

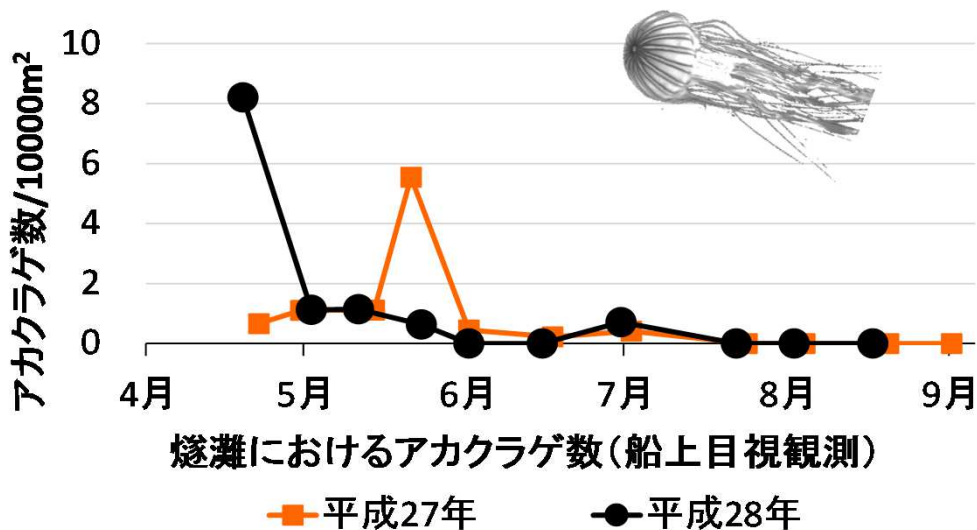
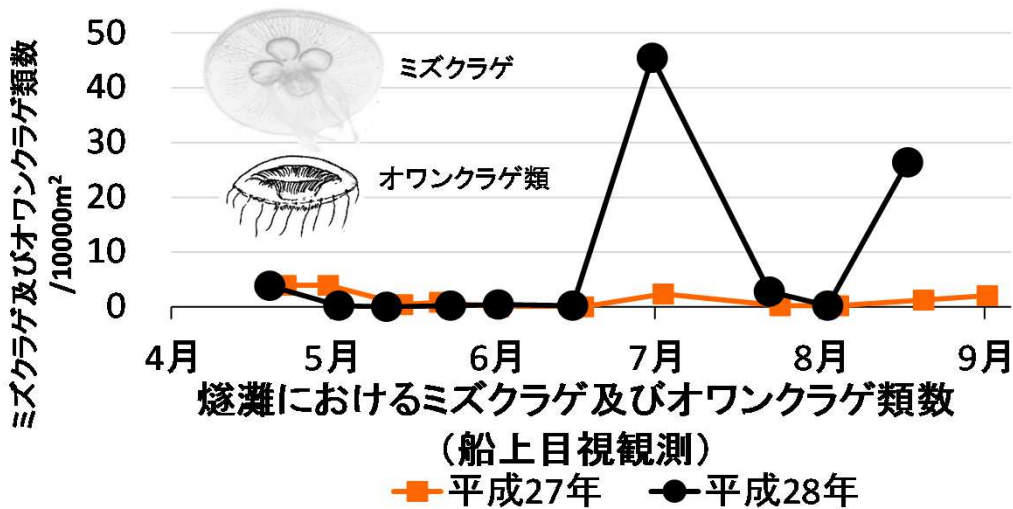
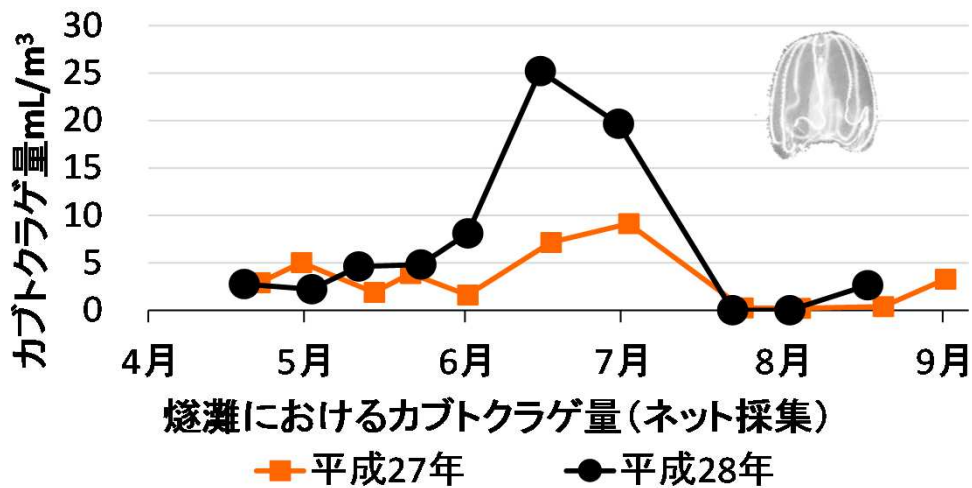
平成28年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(10回目)

調査日: 2016/8/17

S T	曳網水深 (m)	表層水温 (°C)	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H1	20	31.2	11	0	1	0	0	0
H2	20	31.3	1	0	1	1	0	2
S1	20	31.4	29	0	0	1	0	0
S2	20	31.6	0	0	3	0	0	3
H3	20	30.8	0	0	0	0	0	0
S3	20	31.3	0	0	5	0	0	2
H4	20	30.8	0	0	0	0	0	0
H5	20	31.2	0	0	1	0	0	8
S10	20	30.5	0	0	0	6	0	8
H6	20	30.3	8	0	0	0	0	0
H7	20	29.9	20	0	0	7	0	1
S7	20	29.6	17	0	0	7	0	1
S11	20	29.7	10	0	2	3	0	1
S12	20	29.5	1	0	4	5	0	10
S13	20	29.3	14	0	2	5	0	7
S14	20	29.0	0	0	1	1	0	3
S15	20	29.0	7	0	0	3	0	4
7点平均		30.8	6	0	0	1	0	2
平均		30.4	7	0	1	2	0	3



※カイアシ類量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。



※カブトクラゲは丸特Bネットによる全定点の平均採集量。ミズクラゲ、アカクラゲはH1～H7の7点における平均船上目視観測数(船速平均約7ノットで3分間航走する間に、船側両舷5mの範囲で視認できるクラゲの数)。クラゲ発生量の目安としてご参照ください。

※この報告の情報により不利益等が発生した場合において水産試験場は何ら責任は負いません。